

平成27年度
事業決算報告書

自 平成27年4月1日
至 平成28年3月31日

公益財団法人 平群町地域振興センター

目次

事業報告書

I スポーツを通じて平群町民の健康増進の普及及び健康づくりを促進する事業（公益目的事業1）

- 1 事業報告
 - 1) 健康サポート・地域コミュニティ支援事業（コミュニケーション）
 - 2) 子ども体力向上事業（発育スキルアップ）
 - 3) 健康体力づくり事業（健康保持増進）
 - 4) 元気UP高齢者事業（健康保持増進）
- 2 町有施設（体育/公園体育施設）指定管理事業

II 地域文化の振興を促進する事業（公益目的事業2）

- 1 事業報告

III 農業の健全な発展及び地域資源の合理的な利用を推進する事業（公益目的事業3）

- 1 事業報告
- 2 町有施設（活性化センター）指定管理及び道の駅施設受託管理事業

IV スポーツ施設及び農業発展施設並びに地域資源の合理的な利用促進施設を管理運営するために生じる関連物品の販売（収益等事業1）

- ・その他

V 理事会議決事項並びに認定報告事項

VI 行政機関届出事項

VII 役員名簿(平成28年3月31日現在)

VIII 役員に関する事項

決算報告書

- ・貸借対照表及び貸借対照表内訳表
- ・正味財産増減計算書及び正味財産増減計算書内訳表
- ・財務諸表に対する注記
- ・附属明細書
- ・財産目録

〈基本方針〉

平群町地域振興センターは、平成5年設立当初より寄附行為(※定款)第3条(目的)並びに第4条(事業)の規定に基づき事業活動を行い、設立22年目を迎えた。平成25年4月に「公益財団法人」へ移行後、より一層地域に根ざした公益性、公共性を発揮していくという明確な活動理念及び目的のもと運営を行った。あわせて、平群町と連携し地域住民や各団体と相互補助の関係を築き「地域づくり」、「地域貢献」、「地域還元」に積極的に振興事業を展開した。

町有施設の管理においては「指定管理者」として3期目(1期:4年)の2年目を迎え、町より受けている管理権限の委任や公共性を最大限に発揮し、地域が求める住民サービスの向上に一層の充実を図り、各施設の設置目的にあった管理運営を行った。

体育/公園体育施設・公園施設の管理運營業務は、「平群町」の地域社会における文化及び体育活動の意識向上と基盤整備した振興事業を行い、更なる平群町民の生活・健康・文化的水準の維持向上を目指し実施した。また、円熟化社会を迎え、複雑化、高度化、多様化する利用者及び行政からのニーズを的確に捉え、それらを柔軟・迅速に対応できるように、既存の文化、体育施設を拠点としながらその機能を十分に生かした多角的且つ合理的な利用方法の構築・追及を行った。

活性化センター運營業務は、生産者と地域住民が共に地域農業についての共通理解を深めながら、農産物の生産及び消費の保持及びさらなる拡大と地域農業の情報発信の拠点となるように、また、全ての利用者に公平かつ安心して利用できるように、施設の役割や利用状況に即した公共施設のあり方を考え、効果的な管理運営を実施した。

I スポーツを通じて平群町民の健康増進の普及及び健康づくりを促進する事業（公益目的事業1）

1 事業報告

町内の体育施設及び公園体育施設等において、地域住民の健康保持増進の活動拠点となるよう、「健康サポート・地域コミュニティ支援事業」、「子ども体力向上事業」、「健康体力づくり事業」、「元気UP高齢者事業」の4部門の自主事業を実施した。

〔施設の現状に対する認識及び今後の在り方〕

町内の体育施設は、平群町総合スポーツセンター（体育館、グラウンド、テニスコート、ウォーターパーク、トレーニング室、会議室）、平群健民運動場、梨本テニスコート（平成24年4月～利用停止）、梨本ゲートボール場、福貴テニスコート、平群中央公園グラウンド・テニスコート・ゲートボール場、平群北公園テニスコート、また公園施設として大規模な中央公園、北公園があり県下でも有数の施設が整備され、長年にわたり地域住民または町外、県外からの多くの利用者に愛され利用されている。今後も引き続きすべての利用者に愛着を持って利用していただける環境づくりとして、美観整備を大切に安全で安心して楽しく利用していただけるよう努める。ただ、すべての施設の老朽化が進んでおり、平群町と一体となった改修計画策定が継続的且つ緊急的な課題と考える。体育/公園体育施設及び公園施設については“へぐり”を地域住民と共同して素晴らしいまちづくりを目指し運営を行う。

1) 健康サポート・地域コミュニティ支援事業（コミュニケーション）

スポーツセンターを基本拠点とし、トレーニング室では既存の機器等を有効的に使用し、幅広い年齢層の利用者を対象にトレーニング・運動指導及びトレーニングプログラムの提供を行った。また、スポーツセンターだけに捉われず、平群町・各自治会・長寿会・平群町社会福祉協議会・小地域ネット・町内の子ども園、各子ども会等から依頼を受け、講師を派遣し「健康運動教室」を開催し、広く町民や地域住民の健康増進やコミュニティ強化・関係強固、地域住民の健康づくりや健康向上を目的として実施した。

クラブ・地域

（総合型スポーツクラブ「くまがしクラブ」運営・地域団体との共催事業の拡大）

全国で設立されている地域スポーツの拠点となる「総合型スポーツクラブ」（くまがしクラブ）の運営を町行政や体育協会とともに協働体制を強化、整備を行った。また、地域の公共的団体・運動クラブと連携し、共催事業を実施した。

事業名	実施時期	目的・内容
トレーニング室利用講習会	通年 (43回開催)	トレーニングに関する知識と、施設利用に関する説明、マシンの使用方法を指導し、受講者に登録証を発行した。 受講者 99 名。(50 回/99 名) 受講料 1 回 300 円。累計登録者数 4,937 名。内訳、町内登録者数 4,833 名、生駒市登録者数 22 名、町外登録者数 82 名。職員によるトレーニング室の利用、機器の操作方法の説明。40 分/回。
ニュースポーツ普及事業	6 月、11 月 (年 2 回)	平群北小学校で開催された第 6 ブロックのカーリングをメイン種目とした、ニュースポーツの紹介及び体験に協力参加した。参加者 103 名。
運動講師派遣事業 (スポセン健康宅配便)	6 回/年 (通年)	平群町及び地域住民より運動講座開催の依頼を受け、各自治会館等へ職員を派遣し、子どもから中高齢者に対しての健康運動指導を実施した。5 月、西宮子ども会/36 名、6 月、菊美台小地域ネット/33 名、7 月、緑ヶ丘長寿会/29 名、11 月、御陵苑小地域ネットワーク/19 名、3 月、平群町緑寿会/26 名、久安寺子ども会/9 名。参加者合計 152 名。(3 回/66 名)
ラジオ体操会	6 月 7 日	平成 25 年度まで実施の形態を変更し、夏期の健康増進を目的に、町子連カーニバルにてラジオ体操を推奨し、参加者全員に「WP 半額入場券」を配布した。450 枚を配布し、153 枚の使用実績があった。
キッズフェスタ	5 月、11 月 (年 2 回)	子ども参加型で、身体を動かす遊びを取り入れて、子どもたちの心身の健やかな発達の促進を目的に、バンビシヤス奈良の選手によるバスケット教室、サイン会、ステッカーのプレゼントを実施した。参加者 18 名。

キッズガーデニング	6月8日	平群中央公園で、植栽や軽度の手入れなどの作業を通じて植物に触れ、公園を身近に感じてもらう取り組みとして実施した。町内はなさとこども園の園児と職員と一緒に花を育て植え、実施状況写真を現場に掲示した。参加者 25 名。
くまがしフェスタ	11月15日	くまがしクラブを主体に教委、スポーツ推進委員会、体育協会と共に実行委員会を形成し開催した。レクリエーションスポーツ体験、フリーマーケット等を中心としたイベントを開催し、くまがしステーションブース出店等で協力した。
ふれあいマラソン	3月13日	平群町教育委員会、スポーツ推進委員会、体育協会と共に実行委員会を形成し開催した。町内に 3 つのコースを設けて実施した。会計担当、後尾車両で協力した。参加者 291 名。

・かんぼの宿めぐりとの共同事業（スポーツ合宿）

町内にあるかんぼの宿と連携し「合宿プラン」を展開した。内容は、町外のスポーツクラブ・有志のサークル等の団体に、かんぼの宿と体育施設や公園体育施設を合わせて利用していただくと、体育施設並びに公園体育施設の事前予約受付と町内利用料金を適用する。

グラウンドゴルフ、バトミントン、軟式野球等で 17 件/年間の利用があった。

2) 子ども体力向上事業（発育スキルアップ）

平群町総合計画において「緑豊かで心豊かな 子どもの歓声が聞こえるまち」が掲げられている。そんななか、少子高齢化時代において、子どものからだの成長は変化の時代をむかえ、からだは大きく成長するが運動能力の低下は著しい。奈良県小中学生においては、文部科学省の全国運動能力・体力テストにおいて全国最下位に近い状態であり、抜本的な対策と改善が期待されている。このような状況下において、振興センターでは早くから、子どもの基礎体力向上のための体育振興事業の展開を実施し、特に平成 18 年度から未就学園児である 6 歳以下（U-6）を対象にしたキッズの運動講座をスタートさせている。その中には、町内保育園に運動講師派遣による園児たちへの運動指導、健やかで元気な身体づくりや保護者や先生向けの指導講演会の開催なども行った。現在指導を行っている子どもたちに、より健やかに成長してもらえるように、ジュニア期の運動教室を展開しながら平群町の子どもたちの体力向上を目指し実施した。

子どもの成長にあわせた運動プログラム計画（キッズ・ゴールデンエイジ）

キッズエイジ（U-6）には、将来の運動能力を左右する基礎運動能力（からだづくり）を高め、成長期に備えていくこと、特にからだの成長にあわせた運動の種目と内容を選定することが大切であり、「走る」・「跳ぶ」・「投げる」・「蹴る」等の基本動作をこの期間にからだを動かして身に付けさせていく。小学校（ゴールデンエイジ時代）の年齢にあたっては、様々な運動や体験に触れることを重視して技術の習得やより効率的にからだを動かすための技能習得が最も重要である。

成長過程と呼び名

- ・キッズエイジ 3歳～5歳 今後への準備期間、6歳～8歳 神経回路成長
- ・ゴールデンエイジ 9歳～12歳 神経系発達完成、13歳～14歳 速筋繊維発達

成長に応じた運動効果

- ・からだの基本動作習得・バランス・調整力、体力向上・けがの予防・将来的な競技力向上・技能向上。
- ・キッズエイジ (U-4~6) (キッズスクール)
幼児期のからだづくりの基本的動作となる体操やボールを使用した運動を実施し、からだの効果的な動かし方を身につけさせることを目的とする。
- ・ゴールデンエイジ (U-12) (ジュニアスクール・水泳)
小学生の時期に、より活動的に様々な動きや、日頃体験できないスポーツを子どもたちに多く体験してもらい能力の幅を広げることを目的とする。

事業名	実施時期	目的・内容
スポセンキッズ教室	※平成 27 年度よりくまがしクラブ教室へ移行。	
子ども体づくり支援事業	6 月、11 月 (年 2 回)	町内の子育て支援センターと共催し、子どもたちの健全な心身の発育を目指し遊びを通した様々な動きで運動遊びを行った。はなさとこども園、25 名/6 月、23 名/11 月。ゆめさとこども園、61 名/6 月、59 名/11 月。
水泳教室	8 月 18 日～ 21 日	小学生を対象とし、個々のレベルに合わせて水泳指導を実施した。募集 25 名に対し、参加者 21 名
カヌー教室	※平成 25 年度よりくまがしクラブ教室へ移行。	

3) 健康体力づくり事業 (健康保持増進)

日常生活の中で、体を動かすことが減少してきているミドルエイジ (20 代～50 代) (U-60) の生活習慣病予防や成人の健康保持増進のため、有酸素運動や筋力運動等の様々なジャンルの運動で参加者の幅を広げ、効果的に楽しみや興味を持って参加できる事業を実施した。また、競技者 (アスリート) に対しては、個別にその人にあった効率的且つ専門的な指導で目的達成のサポートを行った。

事業名	実施時期	目的・内容
ESA&ME (健康体力づくり事業)	※事業見直しに伴い、未実施。	
だれでもかんたん運動教室	9 月 3 日～ 計 10 回	平群町健康課の事業「元気にこここ教室」への講師協力を行った。参加者合計 210 名 (6 回/143 名)
スポセンテニススクール	※事業見直しに伴い、未実施。	
はつらつノルディックウォーキング教室	平成 25 年度よりくまがしクラブ事業へ移行。	

4) 元気UP高齢者事業 (健康保持増進)

シニアエイジ (O-60) が、いつまでも自力で元気に日常生活を送れるように、有酸素運動や筋力運動のような体質改善できるよう運動指導を行い、体の機能を維持向上させて日常生活活動レベルを上げ、メタボリックシンドローム予防やロコモティブ予防 (運動器症候群) に繋がるように事業を実施した。

事業名	実施時期	目的・内容
ESA&ME（健康体力づくり事業）		※事業見直しに伴い、未実施。
だれでもかんたん運動教室	6月～ 計10回	包括支援センター事業に講師派遣を行った。参加者合計276名（237名/10回）
スポセンテニススクール		※事業見直しに伴い、未実施。
はつらつノルディックウォーキング教室		平成25年度よりくまがしクラブ事業へ移行。

2 町有施設（体育/公園体育施設）指定管理事業

上記健康増進の普及及び健康づくりを促進する事業を実施するために、下記の施設の貸し出し業務等や施設管理を行った。

管理施設

- ① 平群健民運動場（管理棟、グラウンド）
- ② 平群町総合スポーツセンター（体育館、グラウンド、ウォータerpark、テニスコート）
- ③ 平群中央公園（管理棟、多目的/サブグラウンド、テニスコート、ゲートボール場）
- ④ 平群北公園（管理棟、テニスコート）
- ⑤ 梨本ゲートボール場（ゲートボール場）

〔業務内容〕

〔施設の利用許可、料金に関する業務〕

- ・「平群町体育施設条例/施行規則」、「平群町都市公園条例/施行規則」に基づき、利用者の公平・公正・平等な利用を確保し、丁寧かつ迅速な対応で業務を行った。
- ・平成21年度以降、奈良県の汎用受付システムの導入により、インターネットを通じての施設受付も可能となり利便性の向上、利用率の向上及び利用料収入の増加に努め、平群町情報処理担当者との意見交換もを行い、より利用しやすいシステムの調整を適宜実施した。
- ・平群町教育委員会、平群町体育協会開催の「体育施設利用年間調整会議」に現場の管理者として出席し、その他一般利用者も不満なく公平に利用できるように調整を図った。

〔施設の管理に関する業務〕

- ・管理責任者及び防火管理者を配置し、火災等の事故防止に努めた。消防設備点検を日々及び定期的に行った。また、消防訓練実施計画書と共に消防署に報告を行うと同時に訓練を実施し、平群町地域防災計画において「避難所」に指定されていることから緊急時に対応できる体制を整備した。

〔施設及び設備の維持管理に関する業務〕

館内外の清掃を毎日、定時及び適宜実施し、また、除草や植栽などの手入れについては季節、状況を考慮し定期的に行った。機械設備については、従業員による日々点検と業者による保守点検を行った。

平成27年度 体育施設別利用状況

		メインアリーナ	サブアリーナ	会議室	総合グラウンド	健民グラウンド	中央グラウンド	総合テニスコート	中央テニスコート	北テニスコート	小計	トレーニング室(人)	
4月	利用単位数	116	51	513	33	18	16	249	133	203	1,332	合計	900
	利用率	74.4%	65.4%	54.8%	38.4%	30.0%	26.7%	42.6%	55.4%	59.0%	49.6%	1日平均	34.6
	昨対比	119.6%	116.0%	301.1%	132.0%	75.0%	95.7%	88.9%	126.2%	105.7%	128.9%	昨対比	97.2%
昨年度	利用単位数	97	44	170	25	24	24	280	151	192	1,007	昨年度	925
	利用率	62.2%	56.4%	18.2%	29.1%	40.0%	27.9%	47.9%	43.9%	55.8%	42.4%	昨年度	35.6
5月	利用単位数	116	44	215	37	25	22	323	155	265	1,202	合計	908
	利用率	71.6%	54.3%	22.1%	41.6%	40.3%	35.5%	53.5%	62.5%	74.4%	50.6%	1日平均	33.6
	昨対比	112.6%	107.3%	97.8%	112.1%	75.8%	131.5%	107.6%	130.2%	126.1%	111.2%	昨対比	91.3%
昨年度	利用単位数	103	41	220	33	33	24	300	171	210	1,135	昨年度	993
	利用率	63.6%	50.6%	22.6%	37.1%	53.2%	27.0%	49.7%	48.0%	59.0%	45.6%	昨年度	36.8
6月	利用単位数	107	41	345	26	23	16	261	109	201	1,129	合計	991
	利用率	71.3%	54.7%	38.3%	30.6%	38.3%	26.7%	45.0%	45.4%	59.1%	45.5%	1日平均	39.6
	昨対比	105.9%	102.6%	133.4%	104.1%	91.4%	103.1%	98.9%	103.7%	99.5%	104.7%	昨対比	109.4%
昨年度	利用単位数	101	40	258	25	26	22	264	149	202	1,087	昨年度	977
	利用率	67.3%	53.3%	28.7%	29.4%	41.9%	25.9%	45.5%	43.8%	59.4%	43.9%	昨年度	36.2
7月	利用単位数	118	43	205	26	29	21	256	147	181	1,026	合計	1,185
	利用率	72.8%	53.1%	21.1%	29.2%	46.8%	33.9%	42.4%	47.4%	50.8%	44.2%	1日平均	43.9
	昨対比	108.2%	93.5%	77.6%	103.9%	80.6%	137.2%	79.5%	107.0%	95.1%	98.1%	昨対比	112.0%
昨年度	利用単位数	109	46	264	25	36	22	322	185	190	1,199	昨年度	1,058
	利用率	67.3%	56.8%	27.2%	28.1%	58.1%	24.7%	53.3%	44.3%	53.4%	45.9%	昨年度	39.2
8月	利用単位数	93	42	153	84	26	17	302	141	192	1,050	合計	1,002
	利用率	59.6%	53.8%	16.3%	95.5%	41.9%	27.4%	50.3%	45.5%	54.5%	49.4%	1日平均	38.5
	昨対比	98.5%	106.3%	70.9%	100.0%	104.0%	128.6%	104.8%	126.7%	121.4%	106.8%	昨対比	107.2%
昨年度	利用単位数	98	41	224	85	25	19	290	150	160	1,092	昨年度	969
	利用率	60.5%	50.6%	23.0%	95.5%	40.3%	21.3%	48.0%	35.9%	44.9%	46.7%	昨年度	35.9
9月	利用単位数	118	48	245	31	34	18	256	148	228	1,126	合計	1,043
	利用率	75.6%	61.5%	26.2%	36.0%	56.7%	30.0%	43.8%	49.3%	66.3%	49.5%	1日平均	40.1
	昨対比	96.9%	96.1%	90.7%	90.0%	103.1%	94.3%	85.2%	99.0%	108.9%	96.0%	昨対比	97.6%
昨年度	利用単位数	117	48	260	34	33	27	298	199	207	1,223	昨年度	1,028
	利用率	78.0%	64.0%	28.9%	40.0%	55.0%	31.8%	51.4%	49.8%	60.9%	51.1%	昨年度	41.1
10月	利用単位数	136	55	419	51	35	27	282	153	242	1,400	合計	886
	利用率	84.0%	50.9%	43.1%	57.3%	56.5%	43.5%	46.7%	61.7%	68.0%	56.9%	1日平均	35.4
	昨対比	123.7%	87.8%	130.6%	124.3%	125.6%	117.3%	101.5%	108.4%	104.8%	113.8%	昨対比	107.3%
昨年度	利用単位数	110	47	321	41	27	23	278	141	231	1,219	昨年度	916
	利用率	67.9%	58.0%	33.0%	46.1%	45.0%	37.1%	46.0%	56.9%	64.9%	50.5%	昨年度	33
11月	利用単位数	122	57	320	35	27	20	241	116	197	1,135	合計	896
	利用率	81.3%	76.0%	35.6%	41.2%	45.0%	33.3%	41.6%	48.3%	57.9%	51.1%	1日平均	35.8
	昨対比	94.6%	109.8%	87.0%	84.4%	107.9%	76.9%	82.9%	89.1%	84.8%	90.8%	昨対比	109.8%
昨年度	利用単位数	134	54	383	42	25	26	293	130	235	1,322	昨年度	782
	利用率	85.9%	69.2%	40.9%	48.8%	41.7%	43.3%	50.2%	54.2%	68.3%	55.8%	昨年度	32.6
12月	利用単位数	109	43	215	14	22	13	0	148	202	766	合計	758
	利用率	79.0%	62.3%	26.0%	18.7%	42.3%	25.0%	0.0%	71.2%	79.5%	44.9%	1日平均	33
	昨対比	103.3%	98.0%	73.4%	72.8%	137.3%	92.9%	0.0%	139.6%	136.8%	94.9%	昨対比	113.4%
昨年度	利用単位数	101	42	280	19	16	14	228	106	172	978	昨年度	787
	利用率	76.5%	63.6%	35.4%	25.7%	30.8%	26.9%	45.2%	51.0%	58.1%	45.9%	昨年度	29.1
1月	利用単位数	93	36	215	24	23	17	241	102	185	936	合計	862
	利用率	67.4%	52.2%	26.0%	32.0%	44.2%	32.7%	47.8%	49.0%	61.7%	45.9%	1日平均	37.5
	昨対比	94.9%	92.4%	65.8%	92.2%	143.5%	113.5%	112.5%	94.4%	104.0%	101.5%	昨対比	99.5%
昨年度	利用単位数	98	39	370	26	16	15	216	108	178	1,066	昨年度	866
	利用率	71.0%	56.5%	39.5%	34.7%	30.8%	28.8%	42.5%	51.9%	59.3%	46.1%	昨年度	37.7
2月	利用単位数	110	41	266	20	12	20	328	137	24	958	合計	891
	利用率	76.4%	56.9%	30.8%	24.4%	20.7%	34.5%	58.6%	59.1%	24.0%	42.8%	1日平均	37.1
	昨対比	109.0%	107.8%	112.8%	75.1%	58.0%	87.8%	137.6%	122.6%	38.6%	94.4%	昨対比	90.3%
昨年度	利用単位数	101	38	236	26	20	22	232	108	209	992	昨年度	987
	利用率	70.1%	52.8%	27.3%	32.5%	35.7%	39.3%	42.6%	48.2%	62.2%	45.6%	昨年度	41.1
3月	利用単位数	132	44	254	40	25	22	346	137	226	1,226	合計	996
	利用率	81.5%	54.3%	26.1%	44.9%	40.3%	35.5%	57.3%	55.2%	63.5%	51.0%	1日平均	39.8
	昨対比	97.8%	84.7%	80.1%	96.4%	80.6%	100.0%	129.6%	120.0%	87.0%	97.4%	昨対比	105.0%
昨年度	利用単位数	130	50	305	41	31	22	265	114	219	1,177	昨年度	985
	利用率	83.3%	64.1%	32.6%	46.6%	50.0%	35.5%	44.2%	46.0%	73.0%	52.8%	昨年度	37.9
合計	利用単位数	1,370	545	3,365	421	299	229	3,085	1,626	2,346	13,286	合計	11,318
	利用率	74.6%	58.0%	30.5%	40.8%	41.9%	32.1%	48.1%	54.2%	59.9%	48.9%	1日平均	37.4
	昨対比	105.5%	102.8%	102.2%	99.8%	95.8%	88.1%	94.5%	95.0%	97.5%	98.4%	昨対比	100.4%
昨年度	利用単位数	1,299	530	3,291	422	312	260	3,266	1,712	2,405	13,497	昨年度	11,273
	利用率	71.1%	58.0%	29.8%	41.1%	43.5%	30.8%	47.2%	47.8%	59.9%	47.7%	昨年度	36.35

平成27年度 ウォーターパーク利用集計表

開場期間 7月18日(土)～8月31日(月) ※実質42日間
 内、休場日 7月21日(火)、8月3日(月)、8月17日(月)
 開場時間 午前9時30分～午後4時30分

		平成27年度	平成26年度	平成25年度	対前年比	
開場日数		42日	39日	45日	3日	
町内	大人	6,705人	5,775人	7,592人	930人	116.1%
	小人	7,398人	6,850人	8,648人	548人	108.0%
	シニア	227人	250人	269人	▲23人	90.8%
	合計	14,330人	12,875人	16,509人	1,455人	111.3%
町外	大人	1,733人	1,565人	2,605人	168人	110.7%
	小人	1,489人	1,544人	2,273人	▲55人	96.4%
	合計	3,222人	3,109人	4,878人	113人	103.6%
有料団体入場者数		134人	82人	102人	52人	163.4%
半額入場券	大人	31人	139人	398人	▲108人	34.9%
	小人	181人	303人	195人	▲122人	155.4%
	合計	212人	442人	593人	▲230人	74.6%
有料入場者数		17,898人	16,508人	22,082人	1,390人	108.4%
幼児入場者数(小学生)		3,860人	3,507人	4,960人	353人	110.1%
無料入場券使用者		144人	249人	458人	▲105人	57.8%
身体障害者入場者数(611人	593人	744人	18人	103.0%
総入場者数(水泳教室受		22,513人	20,857人	28,244人	1,656人	107.9%
水泳教室受講者(1ク		18人	18人	46人	0人	100.0%
一日平均入場者数		536人	535人	628人	1人	100.2%
ロッカー使用料		413,950円	324,400円	438,350円	89,550円	127.6%
入場料収入(団体含)		12,484,500円	11,349,900円	15,866,100円	1,134,600円	110.0%
生駒市民入場	大人	3,075人	2,308人	3,599人	767人	133.2%
	小人	3,040人	2,602人	3,879人	438人	116.8%
	合計	6,115人	4,910人	7,478人	1,205人	124.5%

運営報告

開場期間中に大きな事故もなく安全に業務遂行できたが、施設全体として平成5年の開場以来、大規模な改修の実施には至っておらず、施設全体の経年劣化が進捗している状況から、開場にあたっては修繕箇所が多く見られた。平群町教育委員会へ改修・修繕要望書を提出して開場にあたり準備を進めた。業者によるウォーターパークの修繕工事がオープン直前までずれ込んだため、全体の準備日程に遅れが発生した。また、開場後も施設及び設備の故障が多発し、その多くの原因が経年劣化によるものであった。管理棟内シャッターの破損、場内プールサイド塩ビ防滑シートの剥離、擁壁面の劣化及び損傷、ポンプシステムの劣化破損、遊具の破損など、今後においても施設及び設備の老朽化が進むことから、修繕費の増加が見込まれ、年度毎における計画的な大規模改修が必要になることが予想される。また、分煙喫煙所の施設及び設備の改修、日よけである場内常設テントの増設等の検討が必要である。

[研修計画]

- ・利用者のニーズをつかむため、近隣市町村、県内、県外の同様施設の視察及びマーケティングを適宜実施して都度報告書をまとめ、当施設の利便性の向上及び活性化に努めた。
- ・定期/臨時ミーティングを実施し、利用スケジュール、利用状況、日常業務内容の確認、窓口や現場での接遇状況、その他問題点等の確認を行うことで、安定した利用者への対応を行うことができるように努めた。

[緊急時の対応]

(1) 防犯に対する態勢

夜間を除く日常は各事業所に職員を配置し定期的な巡回を行って防犯、防災に備えた。(夜間については警備会社へ警備業務を委託。) 緊急時(事件、事故)には情報の集約と緊急連絡網により組織内連絡・関係機関への連絡を速やかに行うとともに、AED(自動対外式除細動器)等を設置し、初動対応を速やかに行える体制を整備し、利用者の安全確保や応急処置等現場での対応にあたった。

管理者 → 現場担当職員 → 本部事務局 → 常務理事 → 理事長

→ 平群町(教育委員会、都市建設課)

→ 警察・消防・救急等関係機関(夜間職員不在時は、警備会社→職員に連絡)

併せて、日頃より町内の消防や警察の関係機関と連絡連携を密にとり、緊急時の対応をスムーズに行った。中央公園、北公園は施設の性質上、24時間園内は自由に侵入できることから(駐車スペースは除く)、できる限り死角が出来ないように適正な草刈りや剪定を行い防犯と景観を兼ねそろえた施設づくりを行った。また、警察や青少年補導委員会の定期巡回の連携を取り、地域一体となって対策を行った。

・災害に対する態勢

台風接近等による大雨・暴風の被害が予想される悪天候時は、気象・災害情報に細心の注意を払い、利用者の安全確保を第一に考え、施設開放や事業の開催可否を協議において決定した。

・大規模地震等による自然災害時には、スポーツセンターは平群町の緊急避難場所及び防災拠点に指定されており、平群町の災害対策本部と連携をとり、情報収集すると共に、被災者や災害対策関係者の受け入れに対応し現場での支援・協力を取れる体制を整備した。

・緊急時に避難場所に来られた住民に飲料水等を無料で提供できる「災害時対応型飲料水自動販売機(ライフラインベンダー)」を設置済みである。

(2) その他の緊急事態に対する態勢

その他緊急事態に備え、通常(夜間を除く)は、職員が常駐し有事の際はそこから速やかに現場へ駆けつけて、即座に有事に対応した。

- ・防災備品を専用物置内に入れ常備・常設した。(消費期限があるものは適宜交換)

[業務連携]

総合スポーツセンター及び中央、北公園の夜間管理及び各施設の施設管理作業(草刈り、清掃等)の一部を「公益社団法人」である平群町シルバー人材センターへ業務委託することで、同センターの業務増加、ひいては平群町在住の高齢者である会員の方々の就労できる場の提供拡充を行い、社会参加に向け積極的に連携を図った。

■経年劣化による現状

【平群町総合スポーツセンター】

- ・ 体育館 → アリーナ床面摩耗による滑り
- ・ ウォーターパーク→
 - ・ 幼児用プール槽塗装後の剥離多数
 - ・ プールサイド防滑塩ビシート剥がれ
 - ・ 着水プール床面、地下水による隆起
 - ・ 着水プール濾過配管内漏水による減水
 - ・ 場内シャッター故障
 - ・ 流水プールの起流ポンプ不動（その他ポンプ要オーバーホール）
 - ・ 場内監視モニター故障
 - ・ 幼児用プールの遊具スライダー使用不可
 - ・ ゲートシャワー使用不可
 - ・ 西側擁壁面の塗装劣化
 - ・ 隔離喫煙所の未設置
 - ・ スライダー用カヌーボートの在庫なし（生産中止のため新規購入不可）
 - ・ 直線スライダー・流水・25m・着水・子ども・ジャグジープール循環ろ過機圧力計故障
- ・ テニスコート → 床面摩耗による擦り減り（平成 27 年 12 月に全面張替え済）

【平群中央公園】

- ・ テニスコート → 床面摩耗による擦り減り（平成 28 年 2 月に部分補修済）
- ・ 夜間照明設備 → 落雷事故により使用中止（平成 28 年 6 月に改修予定※平群町）
- ・ 園内冒険広場 → 遊具故障

※夜間照明設備が落雷による故障のため、当面使用不可。（グラウンド、テニスコート）

【平群北公園】

- ・ テニスコート → 床面摩耗による擦り減り（平成 28 年 2 月に全面張替え済）

〔減免利用における協力について〕

町のスポーツ振興や、町民の健康増進を目的とされ実施される事業やスポーツ施設利用に対して住民サービスの一環として施設利用減免を許可される際、補てん等を求めず協力を継続実施した。

〔利用者サービス・利用促進のための取組み〕

現在、管理運営する体育施設の利用実績において利用率の低い曜日・時間帯の利用率増加を図った。

・ 「個人参加型プログラム」

個人又は小グループが気軽に利用できるように、定期的に設定した曜日・時間帯のアリーナを分割して貸し出すプログラムを提供した。26 件/177 名の利用。

・ 「利用率アップキャンペーン」

ランダムに設定した曜日・時間帯を利用予約された際に、くまがしステーションで利用できる「クーポン券」を発行した。一般利用/72 件、減免利用/13 件。

II 地域文化の振興を促進する事業（公益目的事業2）

地域住民参加型で創意工夫しながら、平群町の活性化や文化振興を目的としながら下記の事業を展開。

1 事業報告

事業名	実施時期	目的・内容
へぐり盆踊り	8月1日	地域の文化として根ざした特有の「平群夢音頭」の普及を目指すものであり、管理施設である健民運動場を会場とし開催。平群町を含めた各種関係団体で実行委員会を構成し、当財団は運営事務局を担当し、町内の子どもで構成されたチームによるダンスショー、ビンゴゲーム、子ども盆踊り、地元の方やプロの音頭とりによる盆踊りを実施した。参加者約 3,000 名。
平群町観月祭	平成 26 年度よりくまがし事業（秋祭り）に変更。	
へぐりふれあいアート	通年	総合スポーツセンターやくまがしステーションのスペース活用として、絵画、写真等を展示する場所の提供と来館者に鑑賞してもらい知識や情緒を高めることを目的とし実施した。

III 農業の健全な発展及び地域資源の合理的な利用を推進する事業（公益目的事業3）

〔施設の現状に対する認識及び今後の在り方〕

くまがしステーションは、平群町の農業振興及び発展の拠点となっている。また、大阪市内から最も近い「道の駅」であり、車で大阪中心部から 30 分、奈良市内からも 20 分で到着でき、人口 12 万人の“生駒市”と隣接し、町内を縦貫する平群バイパスで結ばれていることから「人口集積」が見込める非常に恵まれた環境であり、当ステーションには年間約 40 万人の方が訪れている。この多くの来場者の一人でも多くの方に平群町の農業を発見していただけるように平群町の農産物、特産物の PR と地域情報の発信を行う。また、公共施設として、施設貸出を含めた施設の使用に際し、使用者・利用者の公平・公正・平等な利用を提供する。

今後も、引き続き設立当初からこだわり続けている『平群町内農産物直売所（とれたて市）』のコンセプトである「安心・安全・新鮮・おいしい」をより一層 PR し、「へぐりらしさ」「くまがしらしさ」を強調することで個性を出し、利便性の向上も図りながら柔軟に対応できる売り場づくりを行い、差別化を図り安定した運営基盤の構築を目指し運営を行う。また、“くまがしステーション” ひいては“へぐり”を地域住民の皆様と協働し魅力あるまちづくりを目指し、運営を行う。

1 事業報告

1) とれたて市

- ・「生産者の会」と、とれたて市部分の運営委託契約を結び運営を行った。また、「生産者の会例月役員会議」を開催し、日常運営状況のチェック及び農産物等の品質安定、向上を図った。
- ・「安心・安全・新鮮・おいしい」をコンセプトに品質の安定・向上を徹底的に探求し続け生産者の会と積極的にコミュニケーションを図り売り場の活性化を図った。
- ・お客様の混雑緩和としてお盆・お彼岸・年末の繁忙期は、通常営業開始時間より早く営業を開始した。
- ・町内で栽培される農産物を有効利用しながら、プライベートブランドの商品化を行った。

・平成 21 年度に奈良県と協働する農産物直売所として「奈良県農産物直売所協働協定」を締結。また、協定締結とあわせて、協定直売所のネットワーク「地産認匠 TEAM 奈良」を結成し、ネットワークブランド「地の味 土の香」が立ち上がっている。

(安全性の強化：トレーサビリティの強化)

平成 26 年度に生産者に出荷農産物の栽培履歴提出の協力を積極的に求めた結果、提出率の大幅増に成功し、当年度も引き続き同提出率を維持した。

(品質安定及び向上)

・とれたて市内に専門員を配置し、利用者にレシピと共に簡単な調理方法説明、出荷時期等の質問に対して迅速・丁寧な応対、また生産者には出荷当日における追加納品の声掛けや品質に対する指導等を行った。

・出荷された農産物・花卉の品質チェックを開店前・営業時間中、徹底的に行い、品質の悪いものについては即時に売り場から排除したうえで出荷生産者に厳重注意・指導し、再発の抑制を行い、改善されない生産者に対しては「出荷停止」又は「除名」を生産者の会で決定し、処分を行い、品質の保持に努めた。

・生産者の会主導で生産者向けの「品質向上講習会」を適宜開催し生産者自らの生産農産物・花卉の品質安定を図った。

(出荷量安定、品目の充実)

・システム導入により出荷農産物の種類、量を管理し、当日出荷されている生産者に売上額、売上数量をリアルタイムでメール配信を行った。また、とれたて市全体の月毎売上データ（品目別、数量等）を生産者に提供し、お客様のニーズを情報化することで生産効率の向上に努めていただいた。

(コストパフォーマンスの安定化)

お客様に納得して購入していただけるリーズナブルな価格設定で販売を行った。

(接客・接遇の強化)

アンケートボックスを設置し、日頃からお客様の声を形に変える仕組みを構築。従業員の接遇研修を計画的に実施し、思いやりのある接客・接遇でリピーターの獲得、集客数増に繋がった。

(販売演出)

・生産者の会との共催イベントを積極的に開催し、お客様と生産者のふれあいイベントの企画や生産者の顔写真の掲示などを行い、顔が見える安心・安全な売り場づくりを行った。

・“旬”の野菜を使ったこだわり料理の試食コーナーを週末に設置した。

・“旬”のコーナーの設置を中心に町内地域別、種類別で陳列し、お客様が手に取りやすく、農産物を見るだけで季節の移ろいを感じられる演出陳列を行った。

・清掃の行き届いた清潔感のある陳列による売り場づくりを行った。

事業名	実施時期	目的・内容
収穫体験	9月、12月	平群町と連携を図り、遊休農地解消モデル事業のもと作付けされた農産物の収穫体験を実施した。秋季はさつまいも掘り体験を9月21・22・23日の3日間実施し、321名が参加。冬季は大根掘り体験を12月5・6日の2日間実施し、参加者110名。

くまがし講座	平成 27 年度よりくまがしクラブ事業へ移行。	
	2 月	間伐材を活用して、かかしやベンチの製作体験教室を実施した。
道の駅タイアップイベント事業	4 月 (年 1 回)	4 月 29 日へぐり時代祭りと連動して「道の駅いながわ名物十割そば」の手打ち実演販売を実施した。
いちご狩り	2 月～5 月	平群町特産のいちごの PR として、とれたて市登録生産者のビニールハウスにて開催した。4・5 月の参加者 685 名。
ゴールデンウィークイベント	5 月	期間中、PB 商品の PR 販売を実施した。
ぶどうフェア	6 月	6 月 27・28 日に実施し、平群特産ぶどうの試食販売と先着 100 名（小学生以下）にデラウェアのプレゼントを実施した。
メロンフェア	※栽培量減のため未実施。	
海の日&親子の日フェア	7 月	来場者へ PB 商品の PR 販売等を実施。取引業者などにも協力を仰ぎ、売店商品の試食販売なども実施した。
すいかまつり	※栽培量減のため未実施。	
くまがし創業祭	8 月	日ごろの感謝の意を込め、お客様への還元を目的に、平群町産野菜の詰め放題、PB 商品のプレゼントや、夏休み中のお子様が参加できるとして、スイカ割りなどのお客様参加型のイベントも実施した。
彼岸フェア	9 月	花の需要期であるこの時期に、より多くのお客様を迎えることを目的に PB 商品の PR 販売や取引業者などにも協力を仰ぎ、売店商品の試食販売なども実施した。
生産者栽培地作業体験ツアー	10 月	お客様が生産者の農産物栽培地を訪れて、日頃の生産者の「育てる」段階に触れて、知っていただくことと、農業の町・平群ののどかな田園風景も楽しんでもらう目的で実施した。10 月 20 日に実施。参加者 6 名。
へぐり秋の収穫祭	11 月	地域の農業振興及び地産地消 PR、地域住民の親睦交流を目的に、平群中央公民館をメイン会場に、品評会、絵画展、模擬店、家庭菜園相談コーナー、各種教室の内容で開催され、当財団はメイン会場での模擬店ブース出店、サブ会場のくまがしステーションでお客様へしし汁と新米の振る舞いを実施した。
クリスマスイベント	12 月	PB 商品等を揃えてクリスマス抽選会を実施。
新春季節特産品フェア	1 月	売店商品を中心とした「福袋」の販売と黒米ぜんざいの振る舞いを実施した。
バレンタインフェア	2 月	バレンタイン関連商品の販売と取引業者などにも協力を仰ぎ、売店商品の試食販売なども実施した。
春彼岸&イチゴフェア	3 月	花の需要期であるこの時期に、より多くのお客様を迎えることを目的に PB 商品の PR 販売等を実施した。尚、いちごの生産量が安定していなかった為、イチゴフェアは未実施。

プライベートブランド商品創作	通年	地産地消を目的として、地元で収穫された食材を利用したプライベートブランドの商品の創作を行った。手づくりみそ、梅干し、しょうが漬、長屋くん左近くんまんじゅう、焼酎(里の恵)ケーキ、梅ジャム、いちごジャムなどの創作及び販売を実施した。
週末ふるまい	週末	生産者の会と協働し、季節のとれたて市の農産物の PR を兼ね、ふるまいを実施した。

2) 特産品コーナー

利潤だけを追求しないことを心がけ、地域団体の活性化や地域商業団体、小売店の発展に協力・連携する売り場づくりを行った。

(地域団体、町内業者との共存)

・地域団体、町内業者の活性及び育成を図るため、売店商品の仕入れや PR 特設コーナーの設置などを積極的に行った。福祉作業所の「特定非営利活動法人 大空の家」を中心とした福祉作業所の PR 及び商品販売コーナー、「信貴山」コーナー等もさらなる充実を図った。

(プライベート商品)

・平群町で採れる農産物を使用した平群町開発商品並びにくまがしプライベート商品と奈良県でブランド力のある特産品を中心とした厳選商品のラインアップと特設コーナーの設置を行い PR 販売及び生産量の安定を図った。

- ・日本酒「平群」大吟醸、純米酒、冷酒【平群産ヒノヒカリを使用】
 - ・里の恵（芋焼酎）【遊休農地解消モデル事業で栽培したサツマイモを使用】
 - ・幸福の梅酒（梅酒）【平群町内の休眠耕作地で採れた梅を使用】
 - ・漬物（たくあん）【遊休農地解消モデル事業で栽培した大根を使用】
 - ・てづくりみそ【上庄加工部会に製造を依頼しブランド化に成功】
 - ・おかずみそ【同様】
 - ・こうじ浅漬の素【同様】
 - ・梅干し【平群町内の休眠耕作地で採れた梅を使用し上庄加工部会が製造】
 - ・しょうが漬【同様】
 - ・左近くん長屋くんまんじゅう【平群町イメージキャラクター「左近くん、長屋くん」の PR として「第一回へぐり時代祭り」の開催に合わせて商品化】
 - ・焼酎（里の恵）ケーキ【里の恵（芋焼酎）を材料に使用】
 - ・古都華ジャム【くまがしステーションで大人気のいちご「古都華」を使用】
 - ・ゆずジンジャー【平群町内産のゆずを使用】
 - ・梅ジンジャー【平群町内の休眠耕作地で採れた梅を使用】
 - ・乾燥野菜（ドライベジタブル）【平群町（奈良県産）の農産物を使用】
 - ・みそ汁の具（人参、しいたけ、たまねぎ、※ごぼう、なすび、白菜、菜花、小松菜を季節別に替える）
- (接客・接遇の強化)

アンケートボックスを設置し、日頃からお客様の声を形に変える仕組みを構築する。従業員の接遇研修を計画的に実施し、思いやりのある接客・接遇でリピーターの獲得、集客数増に繋げた。

(販売演出)

- ・お客様に愛着を持ってもらうために、地域団体や町内業者との共催イベントを開催し、お客様と生産者のふれあいイベントを企画し実施した。
- ・“旬”のコーナー設置を中心に種類別で陳列し、お客様が手に取りやすく商品を見るだけで季節の移ろいを感じられる演出陳列を行った。
- ・清掃の行き届いた清潔感のある陳列による売り場づくりを行った。

3) レストラン・できたて工房

(品質安定及び向上)

材料には旬の平群産(奈良県産)の野菜をふんだんに使用し、手づくりで温もりのある老若男女が楽しめるメニューづくり(ランチ)を行った。

(地域活動団体への協力)

地域団体の活動拠点としての活性化を図るため、各団体で開催されている「総会」、「会合」、「研修」を当施設の研修室等での開催利用の促進を図り、利便性の向上を図った。

(接客・接遇の強化)

アンケートボックスを設置し、日頃からお客様の声を形に変える仕組みを構築。従業員の接遇研修を計画的に実施し、思いやりのある接客・接遇でリピーターの獲得、集客数増に繋げた。

平成27年度 くまがしステーション利用者数部門別内訳表(直近3年間)

	平成27年度						平成26年度						平成25年度					
	売店	レストラン	できたて	研修室	料理実習室	小計	売店	レストラン	できたて	研修室	料理実習室	小計	売店	レストラン	できたて	研修室	料理実習室	小計
4月	20,814	4,380	3,515	361	40	29,110	20,580	3,237	3,397	351	74	27,639	19,822	2,540	2,970	261	0	25,593
5月	22,282	4,981	3,819	289	55	31,426	21,630	3,492	3,916	448	85	29,571	20,575	2,780	3,526	259	49	27,189
6月	18,034	4,100	2,368	339	60	24,901	18,817	3,134	2,904	438	75	25,368	17,809	2,365	2,767	316	15	23,272
7月	19,606	4,029	2,407	385	40	26,467	18,215	3,353	2,705	531	102	24,906	18,038	2,393	2,706	426	28	23,591
8月	23,151	4,894	3,257	315	50	31,667	23,326	4,090	3,690	298	35	31,439	22,997	3,840	3,676	485	58	31,056
9月	22,056	4,410	3,196	367	60	30,089	22,893	3,882	3,600	428	25	30,828	21,593	3,975	3,102	364	36	29,070
10月	21,142	4,589	3,150	492	20	29,393	23,267	3,489	2,725	651	30	30,162	18,964	3,001	2,858	315	10	25,148
11月	18,594	4,303	2,454	330	44	25,725	19,175	3,868	2,760	425	70	26,298	18,142	2,772	2,883	387	0	24,184
12月	21,042	3,904	2,135	421	31	27,533	19,112	3,240	2,045	304	38	24,739	20,146	2,869	2,713	462	45	26,235
1月	15,366	3,538	1,558	252	21	20,735	14,551	3,357	1,653	288	63	19,912	14,007	2,528	2,181	406	80	19,202
2月	18,891	4,409	1,888	410	10	25,608	14,000	3,651	2,172	383	73	20,279	14,838	2,257	2,157	456	30	19,738
3月	22,749	4,846	2,669	389	50	30,703	22,259	4,506	2,918	396	60	30,139	20,907	3,086	3,201	628	88	27,910
合計	243,727	52,383	32,416	4,350	481	333,357	237,825	43,299	34,485	4,941	730	321,280	227,838	34,406	34,740	4,765	439	302,188
	102.5%	121.0%	94.0%	88.0%	65.9%	103.8%	104.4%	125.8%	99.3%	103.7%	166.3%	106.3%	-	-	-	-	-	-

平成27年度 くまがしステーション部門別売上

		(千円)		
	部門	平成27年度	平成26年度	昨年対比
産地形成促進部門	とれたて市	275,694	269,339	102.4%
	売店	123,459	109,361	112.9%
	小計	399,153	378,700	105.4%
食材供給部門	レストラン	39,845	32,386	123.0%
	できたて工房	13,493	14,568	92.6%
	小計	53,338	46,954	113.6%
	研修室	703	726	96.8%
	料理実習室	184	154	119.5%
	合計	453,378	426,534	106.3%

2 町有施設(活性化センター)指定管理及び道の駅施設受託管理事業

・町有施設(活性化センター)指定管理事業

農業の健全な発展及び地域資源の合理的な利用を推進する事業を実施するために、平群町より指定管理を受けている「くまがしステーション」の研修室及び料理実習室の利用貸し出し業務、維持管理業務等を行った。

・道の駅施設受託管理事業

農業の健全な発展及び地域資源の合理的な利用を推進する事業を実施するために、平群町から受託を受けている「道の駅大和路へぐり」の管理業務を行った。

〔施設の利用許可、料金に関する業務〕

「平群町活性化センターの設置及び管理に関する条例/施行規則」に基づき、利用者の公平・公正・平等な利用を確保し、丁寧かつ迅速な対応で業務を行った。

〔施設の管理に関する業務〕

- ・管理責任者及び防火管理者を配置し、火災等の事故防止に努めた。消防設備点検を日々及び定期的を実施した。また、消防訓練実施計画書と共に消防署に報告を行うと同時に訓練を実施し、平群町地域防災計画において「避難所」に指定されていることから緊急時に対応できる体制を整備した。
- ・施設から発生する廃棄物やゴミの減量化及び分別を確実にを行い再資源化を図った。

〔施設及び設備の維持管理に関する業務〕

館内外の清掃を毎日、定時及び適宜実施し、また除草や植栽などの手入れについては季節、状況を考慮し定期的に実施した。機械設備については、従業員による日々点検と業者による保守点検を行った。

〔研修室、調理室〕

- ・地域住民、団体の一人でも多くの方々に当ステーションで活動してもらえるように、ホームページ等を利用し利用促進 PR を行い、総会、研修活動、その他の会合拠点としての利用率の向上を図った。
- ・自主事業のくまがし講座を開催した。

〔付帯施設の管理〕

- ・道の駅（トイレ部分）

お客様に気持ち良く利用できるよう毎日、営業時間前・営業時間中に従業員で清掃を行った。また、ドライバーの休憩スポットとして、建物沿いに飲料水等の自動販売機設置販売を実施した。

- ・第1・2・3駐車場（第3駐車場は平成28年3月末で使用不可になり、替わって第1駐車場北側に新規増設）

お客様に気持ち良く来場していただけるように毎日、営業時間前・営業時間中に従業員でゴミ拾いとその他不備がないようにチェックを行った。特に週末の午前中や年末年始などの繁盛期には警備員を配置し、来場者の平群バイパスからの入退場及び駐車場内の誘導で安全確保に努め、当該施設利用目的外の駐車や夜間の不審車両の駐停車排除を県土木事務所、警察、平群町と連携をとり適宜対応した。

〔情報発信コーナー〕

くまがしステーション館内設置の「情報発信コーナー」を最大限活用し、来場者に地域情報、ドライバーには地図、交通情報を提供した。

「ボランティアガイド」

平群町の歴史・観光をガイドされている「平群町観光ボランティアガイドの会」の活動の拠点になるよう館内一部の場所を提供し、ガイドの方々と共に観光客への「平群町」の PR を積極的に行った。また、従業員にはボランティアガイドの方々から日々学び、研修も交えながら今以上に地域の観光・歴史の情報を説明できるよう能力及び資質の向上を図った。

[イベント等への協力]

- ・平成 22 年より実行委員会形式で運営する「へぐり時代まつり」に事務局として参加し、前日からの駐車場封鎖や模擬店出店、当日の現場管理、警備員費用等の一部負担等の協力を行った。
- ・町内団体等が実施する平群町平和委員会署名/募金活動、赤い羽根募金活動に伴う活動場所の提供の協力を行った。

[緊急時の対応]

(1) 防犯に対する態勢

夜間を除く日常は職員を配置し定期的な巡回を行って防犯、防災に備えた。(夜間については警備会社へ警備業務を委託。) 緊急時(事件、事故)には情報の集約と緊急連絡網により組織内連絡・関係機関への連絡を速やかに行うとともに、AED(自動対外式除細動器)等を設置し、初動対応を速やかに行える体制を整備し、利用者の安全確保や応急処置等現場での対応にあたった。

管理者 → 現場担当職員 → 本部事務局 → 常務理事 → 理事長

→ 平群町(観光産業課)

→ 警察・消防・救急等関係機関(夜間職員不在時は、警備会社→職員に連絡)

併せて、日頃より町内の消防や警察の関係機関と連絡連携を密にとり、緊急時の対応をスムーズに行った。

・災害に対する態勢

台風接近等による大雨・暴風の被害が予想される悪天候時は、気象・災害情報に細心の注意を払い、利用者の安全確保を第一に考え、施設開放や事業の開催可否を協議において決定した。

・大規模地震等による自然災害時には、活性化センターは平群町の緊急避難場所及び防災拠点に指定されており、平群町の災害対策本部と連携をとり、情報収集すると共に、被災者や災害対策関係者の受け入れに対応し現場での支援・協力を取れる体制を整備した。

(2) その他の緊急事態に対する態勢

その他緊急事態に備え、通常(夜間を除く)は、職員が常駐し有事の際はそこから速やかに現場へ駆けつけて、即座に有事に対応した。

- ・防災備品を専用物置内に入れ常備・常設した。(消費期限があるものは適宜交換)

平成27年度 料理実習室・研修室利用収入比較表(直近3年)
(円)

月	年度	料理実習室	研修室	計
4月	平成27年度	26,000	69,800	95,800
	平成26年度	15,000	52,600	67,600
	平成25年度	0	80,400	80,400
5月	平成27年度	12,200	48,400	60,600
	平成26年度	6,000	51,400	57,400
	平成25年度	10,000	44,800	54,800
6月	平成27年度	16,500	55,600	72,100
	平成26年度	14,000	39,200	53,200
	平成25年度	3,000	49,600	52,600
7月	平成27年度	26,500	89,600	116,100
	平成26年度	0	115,400	115,400
	平成25年度	6,000	97,600	103,600
8月	平成27年度	12,000	53,800	65,800
	平成26年度	13,000	74,800	87,800
	平成25年度	12,000	56,600	68,600
9月	平成27年度	9,000	57,800	66,800
	平成26年度	20,000	55,600	75,600
	平成25年度	8,000	64,400	72,400
10月	平成27年度	5,500	42,600	48,100
	平成26年度	16,000	51,000	67,000
	平成25年度	4,000	80,900	84,900
11月	平成27年度	14,500	55,600	70,100
	平成26年度	5,000	57,600	62,600
	平成25年度	0	48,000	48,000
12月	平成27年度	10,500	54,800	65,300
	平成26年度	33,000	61,800	94,800
	平成25年度	12,000	70,200	82,200
1月	平成27年度	23,500	59,200	82,700
	平成26年度	25,000	59,200	84,200
	平成25年度	24,000	59,600	83,600
2月	平成27年度	21,500	58,400	79,900
	平成26年度	7,000	43,400	50,400
	平成25年度	6,000	58,800	64,800
3月	平成27年度	5,500	57,300	62,800
	平成26年度	0	63,200	63,200
	平成25年度	23,000	65,000	88,000
合計	平成27年度	183,200	702,900	886,100
	平成26年度	154,000	725,200	879,200
	平成25年度	108,000	775,900	883,900

IV スポーツ施設及び農業発展施設並びに地域資源の合理的な利用促進施設を管理運営するために生じる関連物品の販売（収益等事業1）

事業報告

1) ウォーターパーク売店事業

ウォーターパーク開場期間におけるプール管理棟の売店にて水中遊具や飲食物等の販売を行った。

2) くまがしステーション売店事業

くまがしステーションの館内において、PB 商品、土産品や町内外の手づくりの品、嗜好品の販売を行った。

その他

- ・自販機設置販売

総合スポーツセンター、中央公園、北公園、健民グラウンド、くまがしステーションで飲料等自動販売機設置販売を行った。

- ・くまがしステーションで切手類の販売、コミュニティバスの回数券/フリー乗車券の販売を行った。

(円)

	開催日数	飲食物	水泳遊具販売	合計
平成27年度	42日	5,827,000	211,700	6,038,700
昨年度	39日	5,541,900	269,700	5,811,600
昨年対比	3日	105.1%	78.5%	103.9%

(円)

月	年度	売店商品等	町外委託	町内委託	仕入野菜	計
4月	平成27年度	4,494,982	3,107,351	1,672,344	630,308	9,904,985
	平成26年度	4,063,135	2,997,426	1,369,004	151,608	8,581,173
5月	平成27年度	6,397,332	2,920,802	1,905,405	435,508	11,659,047
	平成26年度	4,561,337	2,970,030	1,406,398	251,428	9,189,193
6月	平成27年度	4,004,214	2,064,015	1,344,820	560,967	7,974,016
	平成26年度	3,514,729	2,358,553	1,138,123	119,623	7,131,028
7月	平成27年度	4,107,434	2,103,715	1,197,989	71,176	7,480,314
	平成26年度	3,603,003	1,939,528	900,265	80,749	6,523,545
8月	平成27年度	5,578,884	2,498,317	1,277,400	526,074	9,880,675
	平成26年度	5,391,352	2,713,482	937,553	274,313	9,316,700
9月	平成27年度	5,217,428	2,797,668	1,519,442	421,699	9,956,237
	平成26年度	4,728,113	2,944,097	1,198,677	10,492	8,881,379
10月	平成27年度	4,751,801	2,657,209	1,722,927	693,216	9,825,153
	平成26年度	3,824,828	2,349,454	1,241,088	359,366	7,774,736
11月	平成27年度	4,707,031	2,618,223	1,427,809	747,666	9,500,729
	平成26年度	5,049,736	2,583,518	1,515,297	174,991	9,323,542
12月	平成27年度	5,506,916	2,510,795	1,441,191	752,341	10,211,243
	平成26年度	5,544,326	2,340,093	1,362,666	327,142	9,574,227
1月	平成27年度	3,685,457	2,112,640	1,238,187	466,864	7,503,148
	平成26年度	3,402,660	2,007,895	1,068,588	329,244	6,808,387
2月	平成27年度	4,083,296	2,742,254	1,299,124	689,427	8,814,101
	平成26年度	3,879,484	2,421,596	1,152,178	660,091	8,113,349
3月	平成27年度	5,226,011	3,189,967	1,637,462	1,214,948	11,268,388
	平成26年度	4,628,559	3,080,067	1,535,733	752,486	9,996,845
合計	平成27年度	57,760,786	31,322,956	17,684,100	7,210,194	113,978,036
	平成26年度	52,191,262	30,705,739	14,825,570	3,491,533	101,214,104
昨年対比		110.7%	102.0%	119.3%	206.5%	112.6%

事業一覧

事業名	実施時期	内容・目的
さくらまつり	4月	平群町文化協会（茶道愛好会）との連携によるお茶席と琴の演奏を実施した。参加者 250 名。
母の日プレゼント	5月	女性のお客様で先着 100 名に平群特産、薔薇のプレゼントを実施した。
父の日イベント	6月	男性のお客様で先着 100 名に飲料のプレゼントを実施した。
秋まつり（観月祭）	9月	平群町文化協会（茶道愛好会）との連携によるお茶席と琴の演奏を実施した。参加者 400 名。
敬老の日イベント		敬老の日に合わせて、65 歳以上のお客様で先着 100 名によもぎもちのプレゼントを実施した。
ハロウィンイベント	10月	館内を装飾し、おもちゃかぼちゃ等の販売を実施した。
節分の日イベント	2月	つきたて餅のふるまい、餅つき体験を実施した。
フリーマーケットの開催	適宜	2 階研修室・1 階フロア等に於いて、フリーマーケットを開催した。
作品展・発表会	通年	くまがしステーション 1 階ホールにおいて町内及び町外の団体による作品展及び発表会を開催した。（木目込人形作品展・ウクレレ発表会等）

・その他

〔情報の公開を行うための措置〕

・(公財)平群町地域振興センターが保有する文書の公開に関し必要な事項を「情報公開規程」に定め、これに基づき運用した。

・(公財)平群町地域振興センターに関する情報をホームページを中心とし、平群町の広報紙、報道機関等も活用し適切に発信を行った。

〔個人情報保護するための措置〕

・(公財)平群町地域振興センターが保有する個人情報の取扱いに関する事項を「個人情報保護規程」に定め、これに基づき運用した。

V 理事会議決事項並びに認定報告事項

議案番号	件名	結果	開催年月日	議決・認定年月日
議第 6 号	平成26年度公益財団法人平群町地域振興センター事業報告並びに決算報告について	原案可決	平成 27 年 5 月 29 日	平成 27 年 5 月 29 日
議第 7 号	平成27年度公益財団法人平群町地域振興センター正規職員給与支給について	原案可決	平成 27 年 5 月 29 日	平成 27 年 5 月 29 日
議第 8 号	公益財団法人平群町地域振興センター第1回評議員会開催について	原案可決	平成 27 年 5 月 29 日	平成 27 年 5 月 29 日
議第 9 号	公益財団法人平群町地域振興センター第2回評議員会開催について	原案可決	平成 27 年 5 月 29 日	平成 27 年 5 月 29 日

議第 10 号	公益財団法人平群町地域振興センター理事長及び 常務理事の選定について	原案可決	平成 27 年 6 月 26 日	平成 27 年 6 月 26 日
議第 1 号	公益財団法人平群町地域振興センター主たる事務 所の移転について	原案可決	平成 28 年 1 月 7 日	平成 28 年 1 月 7 日
議第 2 号	公益財団法人平群町地域振興センター職員就業規 則の一部改正について	原案可決	平成 28 年 1 月 7 日	平成 28 年 1 月 7 日
議第 3 号	公益財団法人平群町地域振興センター職員給与規 定の一部改正について	原案可決	平成 28 年 1 月 7 日	平成 28 年 1 月 7 日
議第 4 号	平成 28 年度公益財団法人平群町地域振興センター 事業計画並びに収支予算について	原案可決	平成 28 年 3 月 28 日	平成 28 年 3 月 28 日
議第 5 号	平成 28 年度町有施設の指定管理に関する基本協定 及び年度協定の締結について	原案可決	平成 28 年 3 月 28 日	平成 28 年 3 月 28 日
議第 6 号	平成 28 年度町有施設の管理に関する受託等の契約 締結について	原案可決	平成 28 年 3 月 28 日	平成 28 年 3 月 28 日
議第 7 号	財団の基本金運用について	原案可決	平成 28 年 3 月 28 日	平成 28 年 3 月 28 日
議第 8 号	公益財団法人平群町地域振興センター情報公開規 程の一部改正について	原案可決	平成 28 年 3 月 28 日	平成 28 年 3 月 28 日
報第 1 号	公益財団法人平群町地域振興センター理事長及び 常務理事の職務執行状況報告について	原案可決	平成 28 年 3 月 28 日	平成 28 年 3 月 28 日

VI 行政機関届出事項

提出年月日	提出先	件 名	受理年月日
平成 27 年 5 月 29 日	平群町	平成 26 年度指定管理者事業報告書	平成 27 年 5 月 29 日
平成 27 年 6 月 30 日	奈良県	事業報告等に係る提出書	平成 27 年 6 月 30 日
平成 27 年 10 月 19 日	奈良県	変更届(定款、役員)	平成 27 年 10 月 19 日
平成 28 年 2 月 18 日	奈良県	変更届(主たる事務所)	平成 28 年 2 月 18 日

VII 役員名簿(平成 28 年 3 月 31 日現在)

理事長 中島 伊三郎

常務理事 岡田 仁

理 事 篠原 紀

理 事 辻本 忠雄

理 事 出水 良一

理 事 向井 美典

監 事 鈴木 一正

Ⅷ 役員に関する事項

(単位/人)

区分 \ 職名	理事長	常務理事	理事	監事
平成 27 年 6 月 19 日 退任	1	1		
平成 27 年 6 月 19 日 重任			4	1
平成 27 年 6 月 19 日 就任			2	
平成 27 年 6 月 26 日 就任	1	1		